

春の褒章 褒状（緑綬）を受章 おおさわふくじゅかい 大沢福寿会（大沢）

大沢福寿会は、地域の老人クラブで昭和の時代から大沢駅周辺の草刈りや清掃作業などの奉仕活動を続けてこられました。長年にわたる環境美化奉仕活動の功績により、今回の受章のほかに、平成28年10月には「鉄道の日」鉄道関係功労者国土交通大臣表彰も受賞されました。数年前からは、花壇の花植え作業も行い、現在は70～90歳代の57人の会員が活動をしています。

会長の阿部正昭さんは「長い間続けてきた活動が認められたことはうれしいことです。先輩から引き継いできた歴史が実を結びました。愛着のある駅なので、これからも身を引き締めて活動を続けていきたいと思っています」と語りました。



春の褒章 藍綬褒章を受章 たけお 中村 武雄さん（緑町）

中村さんは、平成12年2月に調停委員に任命されて以来、南魚沼簡易裁判所の調停委員として民事の調停に尽力されています。土地家屋調査士や測量士、行政書士としての豊富な経験や専門知識をもとに、相手に寄り添って問題の本質を引き出しながら、土地の境界問題などのさまざまな紛争を解決に導きました。今後も、任期の令和2年7月まで民事の調停に力を注がれます。

中村さんは、「受章は大変光栄なことです。裁判所は敷居が高いと思われがちですが、気軽に相談できる場所です。調停は訴訟に比べて安い費用で行うことができます。問題はひとりで抱え込まず、まずは裁判所に相談してほしいと思います」と語りました。



7月7日(日) 令和元年度 南魚沼市民総合防災訓練を実施しました

塩沢小学校を主会場に、市内全域で行政区・自主防災組織が消防団と連携して南魚沼市民総合防災訓練を実施しました。塩沢小学校では、市民参加型の体験訓練を中心に、児童避難、炊き出し訓練、濃煙体験、降雨体験、消火体験、土のうづくり体験、一斉放水などの訓練を行いました。雪を活用した暑さ対策として、雪クーラーの設置とスノーパックの配布を行い、児童や来場者は、涼しいテント内や冷たいスノーパックで体を冷やしながら、さまざまな訓練を体験していました。

林市長は「災害は忘れなくてもやってきます。防災マップで避難方法などを確認していただき、有事の際には今日の訓練を生かしていただきたいと思います」と、話しました。



6月17日(月) ワンタッチテント・メガバルーンライトが寄贈されました

本庁舎で、一般社団法人南魚沼建設業協会会長の井口和成さん、副会長の羽吹忍さん、理事の飯酒盃さんが出席し、ワンタッチテントとメガバルーンライトの寄贈式が行われました。

会長の井口和成さんから「有事の際に、備品は市民の心の支えになります。防災活動などでご活用ください。今後も、市民の役に立てるように努めていきたいと思っています」という言葉とともに、ワンタッチテント2基とメガバルーンライト3台をご寄贈いただきました。

林市長は「使用する機会が来ないことが一番よいですが、有事の際などに活用させていただきます。さまざまな面で建設業協会のみなさんからご協力をいただいています。今後もよろしくお願いいたします」と、語りました。

